

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	令和3年2月15日 (月)

■福祉サービス事業者情報

名 称	はあと保育園中央	種 別	保育所
代表者氏名	園長 蒔 英朗	開設年月日	平成31年3月29日
設置者	社会福祉法人 青藍会	定員(利用人数)	120名(109名)
所在地	〒753-0064 山口市神田町4-22		
電話番号	083-941-5580	FAX番号	083-941-5581
ホームページアドレス	http://www.seirankai.or.jp		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

- 1.保育の質向上に向けて、職員の個人レベル・組織レベルの両面において自己評価と改善の取組がなされています。子どもの健康・安全面のほか、業務遂行上重要な事柄について詳細にマニュアルが整えられ、職員に徹底するよう配慮がなされています。また、研修の機会をつくり保育者の資質向上が図られ、職員一体となってより良い保育を目指しています。
- 2.障害のある子どもについて「見守りカード」を作成し、職員が共通理解のもと援助ができるよう配慮されています。
- 3.保護者とは対面以外にもSNSを駆使したコミュニケーションが図られ、信頼関係構築に努めています。保護者懇談会等の行事や定期的なOYA塾の開催により保護者との交流を行うほか、年1回のアンケート調査で意向や要望を把握しています。加えて随時に保護者からの個別相談に応じるなど子育て支援の充実を図っています。

◇改善を求められる点

- 1.行事計画と合わせ、事業計画についても保護者に周知・説明する取組が期待されます。
- 2.今後、ボランティアの受け入れに向けた体制を整備することが期待されます。
- 3.退園後の保育の継続性を視野に入れた対応のしくみの構築が期待されます。
- 4.苦情対応の事例について、可能な範囲で公表することが求められます。
- 5.子ども達の保育活動がより豊かになるよう、屋内外の遊具・玩具の充実が期待されます。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

評価結果については、訪問調査者の公平な評価結果として受け止め、今後の業務運営の方向性を示していただいたと考えています。

当保育園は、2021年度は開設後3年目に入りますが、今回の第三者評価の結果を踏まえ、さらに保育の質の向上、地域との協働を進めるとともに、業務運営全般の改善を行い、地域にとって必要とされる保育園、子どもや保護者に信頼される保育園を目指していきます。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	8	b	0	c	1	Na	0
<p>開設2年目で園としての経験の蓄積が十分でない中、保育の質の向上と経営状況の安定を目指した取組が進められています。園の理念や方針・目標が書類やホームページに明示され、それに基づき、保育の質の向上に向けて、職員個々の資質向上に向けた自己評価・他者評価の取組を行うほか、園全体の評価も行い、保護者に公表しています。年度の事業計画は園として目指す方向や取組を内外に示すものであり、行事計画と併せて保護者に周知することが期待されます。</p>								

II 組織の運営管理	a	17	b	1	c	0	Na	0
<p>園長は保育の質の向上に向けた研鑽に努め、知識や情報の収集に意欲的に取り組んでいます。そうして得られた知見を園の保育につなげるべく、指導力を発揮している点が評価できます。経験や年齢に幅がある職員がそれぞれに資質向上が図られるよう配慮し、経験の浅い職員でも自園で育てていこうという姿勢が評価できます。</p> <p>情報公開については、子ども・子育て支援情報公表システムの活用と併せ、ホームページやパンフレットで適切になされています。</p> <p>地域を視野に入れた取組として、法人グループ内の保育所で先行して実施されているOYA塾を定期的開催し、自園の保護者だけでなく地域の親子も対象とした支援活動を行っています。</p> <p>今後は、ボランティアの受け入れに向けた体制づくりが期待されます。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	16	b	1	c	1	Na	0
<p>業務手順書やスタッフハンドブックによる業務の標準化と、習熟度をチェックするしくみが、各職員の保育のふり返りに生かされています。評価のためのツールが複数設けられ、職員の自己評価と目標管理のしくみが整えられています。こうした仕組みのもと、指導計画に基づく保育の実施とその記録化が適切になされています。子どもの安全・安心に向け、リスクマネジメント体制が構築されています。各種感染症への対応や災害時を想定した避難訓練など適切に実施されています。</p> <p>退園後の保育の継続性を視野に入れた対応のしくみの構築が期待されるとともに、苦情対応の事例について、可能な範囲で公表することが求められます。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	20	b	0	c	0	Na	0
<p>保育理念・方針が反映された全体的な計画のもと、子ども一人ひとりに応じた保育の実施が図られています。子どもの動線を意識した環境構成を行い、落ち着いた雰囲気の中で子どもたちが過ごしています。健康面を含め子どもに関する情報の把握・共有が適切に行われ、特に障害のある子どもについては「見守りカード」により留意事項の確認がなされています。</p> <p>保護者とのコミュニケーションは対面によらずSNSも活用しながら様々になされ、信頼関係構築に努めています。様々な保護者に対し、言葉のかけ方に注意を払いつつ、保護者と共に子育てを行う姿勢を示しながら支援を行っている点が評価できます。</p> <p>子ども達の保育活動がより豊かになるよう、屋内外の遊具・玩具の充実が期待されます。</p>								

第三者評価結果表

施設名 保育所 はあと保育園中央

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

【 評価項目 】		a	b	c	Na
1 理念・基本方針					
(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。					
1	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 職員、利用者の目に触れやすい所に記載・掲示され周知が図られている点が評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

2 経営状況の把握					
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。					
2	1 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○			
3	2 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 開設2年目で園としての経験の蓄積が十分でない中、保育の質の向上と経営状況の安定を目指した取組が進められています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

3 事業計画の策定					
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。					
4	1 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	○			
5	2 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	○			
(2) 事業計画が適切に策定されている。					
6	1 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	○			
7	2 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。			○	
<p>(特に評価が高い点) 事業計画は保育内容の充実を最優先に策定されており評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 行事計画と合わせ、事業計画についても保護者に周知・説明する取組が期待されます。</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組					
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。					
8	1 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	○			
9	2 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 保育所全体の自己評価について、評価方法や内容の検討がなされ、より現場の保育の改善につながる仕組みを取り入れようとしている点が評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ					
(1) 管理者の責任が明確にされている。					
評価 結	1 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	○			
11	2 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	○			
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。					
12	1 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	○			
13	2 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 園長は保育の質向上に向けた研鑽に努め、それを園の保育につなげるべく指導力を発揮している点が評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

2 福祉人材の確保・養成					
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。					
14	1 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	○			
15	2 総合的な人事管理が行われている。	○			
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。					
16	1 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	○			

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。					
17	1 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	○			
18	2 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	○			
19	3 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	○			
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている					
20	1 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 経験の浅い職員も自園で育てるという方針のもと、職員が日頃の取組の中で必要なことを無理なく学べるよう配慮している点が評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

3 運営の透明性の確保					
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。					
21	1 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	○			
22	2 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 子ども・子育て支援情報公表システムの活用と併せ、ホームページやパンフレットで適切に情報公開がなされています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

4 地域との交流、地域貢献					
(1) 地域との関係が適切に確保されている。					
23	1 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	○			
24	2 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		○		
(2) 関係機関との連携が確保されている。					
25	1 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	○			

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。					
26	1 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	○			
27	2 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 自園の保護者だけでなく地域の子育て家庭も対象にしたOYA塾を定期的開催している点が評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 今後、ボランティアの受け入れに向けた体制を整備することが期待されます。</p>					

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス					
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。					
28	1 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	○			
29	2 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	○			
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。					
30	1 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	○			
31	2 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	○			
32	3 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。			○	
(3) 利用者満足の向上に努めている。					
33	1 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	○			
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。					
34	1 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		○		
35	2 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	○			
36	3 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	○			

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。					
37	1 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	○			
38	2 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	○			
39	3 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 対面だけでなくSNSも活用するなど、様々な方法で保護者の意見や要望を聞き取り満足度向上を図っている点が評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 退園後の保育の継続性を視野に入れた対応のしくみの構築が期待されます。 苦情対応の事例について、可能な範囲で公表することが求められます。</p>					

2 福祉サービスの質の確保					
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。					
40	1 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	○			
41	2 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○			
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。					
42	1 アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	○			
43	2 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	○			
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。					
44	1 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○			
45	2 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 業務手順書やスタッフハンドブックによる業務の標準化と、習熟度をチェックするしくみが、各職員の保育のふり返りに生かされています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

IV 良質な個別サービスの実施(保育所)

【 評価項目 】		a	b	c	Na
A-1 保育内容					
(1) 全体的な計画の編成					
1	1 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じた全体的な計画を作成している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 全体的な計画は保育理念・方針が反映され、関係職員の参画のもと適切に作成されています。定期的な見直しもなされています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開					
2	1 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	○			
3	2 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	○			
4	3 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	○			
5	4 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	○			
6	5 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○			
7	6 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○			
8	7 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○			
9	8 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○			
10	9 それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	○			
11	10 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 障害のある子ども一人ひとりについて見守りカードが作成され、留意事項などの情報共有が図られています。</p> <p>(改善が求められる点) 子ども達の保育活動がより豊かになるよう、屋内外の遊具・玩具の充実が期待されます。</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
----------	--	---	---	---	----

(3) 健康管理						
12	1	子どもの健康管理を適切に行っている。	○			
13	2	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	○			
14	3	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 個々の子どもについて情報の把握・共有が適切に行われています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>						

(4) 食事						
15	1	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	○			
16	2	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 給食運営会議が定期的開催され、食事の改善に向けた検討が継続されています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>						

A-2 子育て支援						
(1) 家庭との緊密な連携						
17	1	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	○			
評価結果については、	<p>(特に評価が高い点) 様々な方法で保護者とコミュニケーションを図り、保護者との信頼関係構築に努めている点が評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					

(2) 保護者等の支援						
18	1	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	○			
19	2	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 保護者にかかる言葉に注意を払い、保護者と共に子育てを行う姿勢を示しながら支援を行っている点が評価できます。</p> <p>(改善が求められる点)</p>						

【 評価項目 】		a	b	c	Na
----------	--	---	---	---	----

A-3 保育の質の向上					
(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)					
20	1 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 様々な形で振り返りをする機会が設けられ、園長や主任からの評価だけでなく保育士同士が評価しあう点が、お互いの学び合いにもつながっています。</p> <p>(改善が求められる点)</p>					